

中期経営計画2027（2025-2027年）

持続可能な社会のインフラ事業を支える価値創造グループへ

2025年4月



株式会社パシフィックソーワ



大平洋製鋼株式会社



大平洋特殊鑄造株式会社



米子製鋼株式会社

1. はじめに

当社グループは、1次中計2018「成長への基盤づくり」、2次中計2021「飛躍への戦略的投資」、3次中計2024「安定的成長と発展」をテーマに、グループ連携の強い意識を持ちながら、目標達成に向け邁進してまいりました。

当社グループを取り巻く環境は、地政学リスクの増大や世界的なインフレ、大幅な円安、エネルギー価格の高騰、資材コストの上昇など厳しい状況が続いておりますが、昨年はコスト増加分の価格転嫁が浸透したことや、カーボンニュートラル関連需要への積極的な取組みの結果、中計2024の定量目標を大幅に達成することが出来ました。

しかしながら、今後については価格転嫁が一巡し、受注動向から慎重な見方をせざるを得ないのが現状であります。また、グループ各社は、老朽化設備の更新、労働環境の改善、人的資本投資、CO₂排出削減に伴うコストも加わり、経営環境は一層厳しさを増すことが予想されます。

当社グループは、新たな中長期ビジョン「持続可能な社会のインフラ事業を支える価値創造グループへ」を掲げ、新中計2027を1次中計と位置付けスタートいたします。グループ共通課題の基本戦略のもと、ロードマップ（施策）を作成し、グループ戦略会議でモニタリングしながら着実に実行してまいります。引き続き、ステークホルダーの皆様からのご指導とご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。

株式会社パシフィックソーワ
代表取締役社長 谷岡 茂

2. グループ中計の歩み

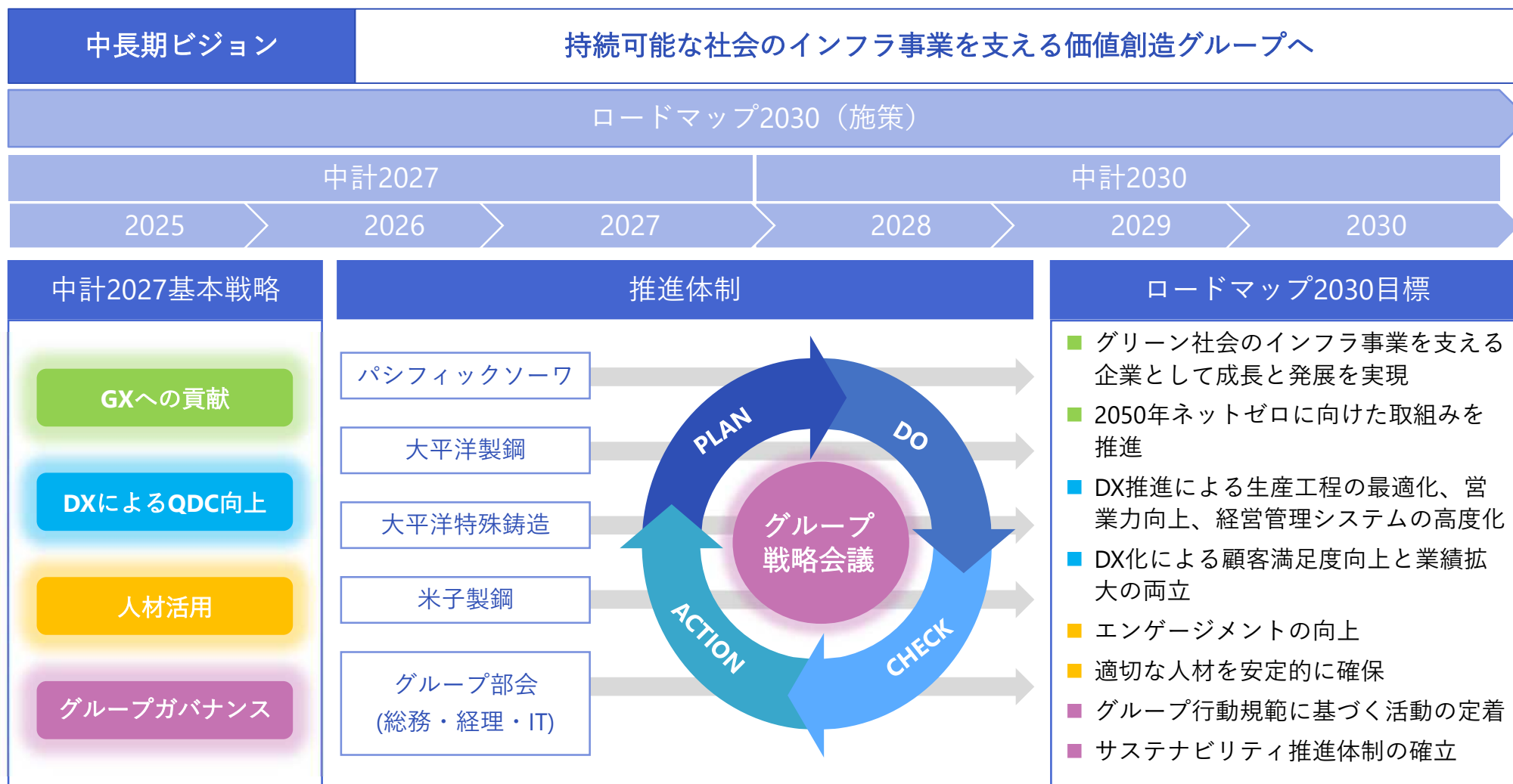
2003年	4社グループ発足 パシフィックソーワ・大平洋製鋼・大平洋特殊鑄造・米子製鋼
2016年	グループ意思決定機関 グループ常務会→グループ委員会→グループ戦略会議に発展 グループ行動規範を制定し、グループ中計の策定を開始



中長期ビジョン		高い技術力と情報力により世界で信頼される価値創造グループへ								
中計2018 成長への基盤づくり			中計2021 飛躍への戦略的投資			中計2024 安定的成長と発展				
2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024		
1.海外事業の拡大に向けたビジネスモデルの構築 2.品質・納期・コスト(QDC)の向上 3.人材の確保・育成 4.グループガバナンスの整備・運用 <u>グループ連携の施策部会により、横断的に課題解決に向けた取組み</u>			1.国内市場の維持・確保、海外市場の展開・拡大 2.品質・納期・コスト(QDC)の向上 3.市場性のある研究開発 4.人材の確保・育成 5.グループガバナンスの運用・向上 <u>グループ施策部会に加え、グループ共同研究体制の構築</u>			1.グリーン成長戦略への貢献 2.顧客価値の創造に向けたQDCの向上 3.研究開発(材料・技術・製品)の拡充 4.高度人材の育成・多様化 5.グループガバナンスの高度化 <u>新たなビジネス機会の創出に向けた取組み開始</u>				

3. 基本戦略・推進体制

- グループ共通課題の基本戦略のもと、中長期ビジョンの達成に向けたロードマップ2030（施策）を作成
- 各社及びグループ部会が具体的施策を実行し、グループ戦略会議が全体の進捗をモニタリング



4. グループ行動規範

- サステナブル経営の実現に向けて、グループ行動規範を適宜改定し、浸透・定着を図る
- 世の中の動向を踏まえてサステナビリティ関連方針を制定し、経営トップがサステナビリティへの取組みを宣言するとともに、グループ全体で推進

グループ行動規範				
ステークホルダー に対する責任	1. 高品質な製品とサービスの開発・提供			
	2. 公正な事業慣行			
	3. 適正な情報管理・開示			
人・社会 に対する責任	4. 人権の尊重			
	5. 多様性を尊重する人材育成			
	6. 地域社会との共存共栄			
	7. 環境経営			
組織としての 責任	8. 危機管理の徹底			
	9. グループガバナンス			
	10. 経営トップの責任			
サステナビリティ関連方針				

■ グループサステナビリティ基本方針 ■ グループ人権方針 ■ グループ環境方針 ■ グループ調達方針